

(別紙 2)

平成18年度水資源功績者表彰受賞者と功績概要

[個人]・・・6名

受賞者	功績概要
あまの のぞむ 天野 望 (神奈川県)	宮ヶ瀬ダム建設に当たり、22年の永きに亘り水没地域首長として尽力。その完成に大きく寄与貢献した功績は顕著である。
みの よしお 美濃 美雄 (福井県)	日野川流域水資源総合開発事業を推進し、榎谷ダム建設等による水資源の開発および農業用水の安定供給に貢献
こばた みのる 小畑 實 (京都府)	由良川水源地域の南丹市美山町で水質保全等の啓発活動に中心的役割を果たし、水資源保全に大きく貢献した。
かこ かつお 加古 房夫 (兵庫県)	東播用水事業による水資源の開発、確保に尽力し、現在も適正な施設管理や配水、上下流交流に貢献している。
よしたに あきひこ 吉谷 昭彦 (鳥取県)	新規水源確保等々のための調査研究の中心となり、20有余年の永きにわたり米子市水道事業における水資源開発に多大な貢献をされた。
ささかわ としひこ 笹川 俊彦 (福岡県)	(財)筑後川水源地域対策基金にて、ダム建設等に伴う水没関係者の生活再建等や基金財政基盤の確立に尽力した。

[団体]・・・4団体

受賞者	功績概要
あおもりけんひらがわし 青森県平川市 (青森県)	平川市は43年間森林保全活動を続けており、一級河川浅瀬石川流域の水資源涵養に多大な功績を有している。
あんじょうしりつめいしょうちゅうがっこう 安城市立明祥中学校 (愛知県)	生徒の自主的な取組として、県内唯一の天然湖沼である油ヶ淵の清掃活動を18年間にわたり行っており、当該活動を学校の大切な伝統と位置づけ、地域・家庭と一体となって油ヶ淵の環境美化に取り組んでいる。
おんががわけんりゅう もり 遠賀川源流の森づくり 推進会議 (福岡県)	遠賀川源流の地で「命の水」を育む豊かな森づくりを柱として、広葉樹を中心に植樹活動等に取り組んでいる。
きたがわぎよぎょうきょうどうくみあい 北川漁業協同組合 (宮崎県)	河川流域の雑木林を山の所有者から組合が20～40年の契約で借り受け、地域住民一体となり水源の森として、森林保全に取り組んでいる。 また、関係者を網羅した北川水系環境保全プロジェクトを立ち上げ、北川の総合的な自然環境の保全に取り組んでいる。